

児童発達支援事業所における自己評価

公表:平成31年 3月 17日

事業所名 little デイジー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	② 職員の配置数は適切である	6			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている	6			
	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
業務改善	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を結果に踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の室の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	5		本年度からホームページ等で公開します。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		今後は第三者による外部評価を入れられるよう努力していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		正職員を中心に研修に派遣させているため、研修内容を合せパート職員も派遣できるよう努めていきたい。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		具体的なアセスメントツールを提示し共有していきたい。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った計画が行われている	6			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		チームとしてではなく、その都度話し合っ てプログラムを実施しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		活動プログラムの内容がやや薄いので、 色々と試みながら充実できるようにしたい。
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		下校後の活動が多いため個別活動と集団活動との組み合わせが提供できないため、色々と検討しながら計画を立てていきたい。	

	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している				
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2		医療的ケアが必要な児童を受け入れしていないため、必要になった時は職員間で協議し、連携体制を整えられたと思います。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		2		医療的ケアが必要な児童を受け入れしていないため、必要になった時は職員間で協議し、関係機関と連携できるようにしたいと思います。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	㉗	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		研修等に参加した時にアドバイスをもらえるよう質問等を行うようにしています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		交流できる活動がないため、機会を設けられるように努めていきたい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		自立支援協議会の有無を確認し、参加できるよう努めていきたい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
		㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	
	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	㉝	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達計画の同意を得ている	5			

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		保護者から悩みや相談等があった時はできるだけ、応えるようにしています。また、協議し回答する時もあります。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		保護者との親睦会等を1年1回を目標に開催できるよう努力していきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	③⑧	個人情報に十分注意している	6			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		事業所の行事に招待できるような事業運営ができていないので運営向上を目指したい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		職員を中心に周知しているところがあるので、保護者に対しても周知できるように事業所便りを通して発信していきたい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		定期的な避難、救出等の訓練ができていないため、実施できるよう努めていきたい。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内での共有している	2	2		ヒヤリハットの理解を促し、事例集を作成できるよう環境を整え、共有していきたい。
	④⑥	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		今後、身体拘束を伴う支援が生じる場合は事前に保護者説明を行い、個別支援計画等に記載していきたいと思います。